

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		人権相談事業			担当課	人権政策課	担当係	人権政策係	管理番号	13141
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり			根拠法令 個別計画等	人権擁護委員法			
	小項目	1	人権・個性が尊重される社会づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		法務大臣の委嘱を受けている人権擁護委員が、市民の基本的な人権を擁護するとともに、人権尊重思想の普及、高揚を図るため、毎月2回の人権相談や幼稚園、小中学校での人権教室、啓発活動などを行う。 人権擁護委員が組織する熊谷人権擁護委員協議会に対して負担金を納める。								
目的 ※何のために		市民の基本的な人権を擁護するとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		熊谷人権擁護委員協議会への負担金交付や、さいたま地方法務局熊谷支局に対し人権擁護委員の推薦を行う。また、人権擁護委員による人権相談、人権教室及び啓発活動等を支援する。								
成果 ※何を求めるか		市民の基本的な人権の擁護体制及び人権尊重思想の普及高揚の機会を確保する。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他(人権擁護委員)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	人権相談事業	686,200
本事業の 主な業務		・ 熊谷人権擁護委員協議会への負担金納付							・	
		・ 人権擁護委員推薦							・	
		・ 人権擁護の啓発活動							・	
		・ 人権相談							・	
		・ 人権教室							・	
		・ 全国中学生人権作文コンテストの作品選定							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	697,000	694,000	690,000	687,000	681,000	
	決算額	697,000	694,000	689,700	686,200	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	697,000	694,000	689,700	686,200	681,000
人件費	従事職員数(人)	0.50	0.45	0.45	0.45	0.45	
	人件費相当試算※	3,934,779	3,604,575	3,700,009	3,814,693	3,963,820	
総事業費試算		4,631,779	4,298,575	4,389,709	4,500,893	4,644,820	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	負担金交付額	目標値	千円	709.00	700.00	700.00	700.00			
		実績値	697.00	694.00	689.70	686.20				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		人口によって決まるためコントロール不可／前々年度末の人口×5円							
	実績値の算出式									
活動指標 2	人権擁護委員の人数	目標値	人	13.00	13.00	13.00	13.00			
		実績値	13.00	13.00	13.00	13.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		人権擁護委員定数規程に寄るためコントロール不可／実際の人権擁護委員の人数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	特設人権相談（よろず人権相談）の開設日数	目標値	日	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	
		実績値	26.00	26.00	26.00	26.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎月10日・25日と6月1日・12月1日に実施を各年の目標値として設定している／実際の相談日数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	特設人権相談（よろず人権相談）予約者数	目標値	人	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	
		実績値	10.00	9.00	12.00	28.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間26回中半数の13人/ 実数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	人権教室参加者数	目標値	人	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00	
		実績値	1,310.00	1,579.00	2,246.00	3,056.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成31年度より指標設定 / 実数							
	実績値の算出式									
活動指標 4	人権教室開催回数	目標値	回	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
		実績値	6.00	9.00	17.00	17.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成31年度より指標設定 / 実数							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	人権擁護委員については、定数の13名を満たすことができている。特設人権相談（よろず人権相談）の開設日数は目標値を達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	特設人権相談（よろず人権相談）については広報やメール配信を利用して周知しており、予約者数は目標値を上回った。人権教室参加者数及び開催回数ともに目標値を大幅に上回っており、多くの学校で開催することができた。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	人権擁護委員が全国中学校人権作文を選定するにあたり、グループ分けをして選定することにより、時間を短縮することができ、効率的に実施することができた。また、啓発活動と部会会議を同日とするなど、活動の効率化を図っている。花フェスタやふつかちゃんバースデーばーちい、アリオ深谷など、人が多く集まる場所で啓発活動を実施することで、効果的な啓発ができている。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵